

平成 26 年度の事業報告書

2014 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人日本芸術家協会

1 事業の成果

今年度の主たる事業活動の成果として、東京都美術館開催の第 37 回 JAG 展が挙げられる。日頃目立たない会員の出展に、努力と一工夫の作品がいくつか輝いていた。また一般の参加、特にこれからの事業活動を盛り上げようと、若い世代への声かけを行った。その結果、平面作品だけでなく立体工芸の初出品が入場者の興味を大いに引いていた。なかでも美術部の中学生 12 名のグループ参加の作品に若いこれからの力を感じた。公募では九州、関西、東海と関東圏の枠を超えた出展の中にも完成度の高い作品が見受けられた。緒デッサン教室やスケッチ会、絵画教室などの活動を率いる会員の努力により、昨年よりも出品者数・出品作品数ともに増加したことが、事業活動を発展させる大きな原動力になった。

公的会場の予約がすべて抽選になり、その環境での継続的な展覧会を維持しなければならない。2 番目の柱春季展と各支部展と小品展により、一般の出品がし易い小サイズの展示も含めて、川崎、湘南、世田谷と各展覧会の今後の工夫話し合いを密にして、地域にも社会貢献していく。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	活動計算書の事業費の金額 (単位: 千円)
① 展覧会の開催事業	春季展 秋の JAG 展の一般公募に応募される方のファーストステップとして、作品の制作・出品を経験するとともに、会員との交流をはかる。	(A) 4 月 22 日-27 日 (B) 横浜市民ギャラリー あざみ野 (B) 延 70 名	(D) 会員、一般 (E) 87 名	1,052
	37 回 JAG 展 公募展として広く一般より作品を公募し、優秀な作品を展示、賞を与えて、研鑽のきっかけを提供する	(A) 11 月 16 日-24 日 (B) 都立美術館 (上野) (C) 延 100 名	(D) 会員、一般 (E) 120 名	2,619
② 普及活動	人物画研究会	(A) 1/13, 2/10, 3/10, 4/14 , 5/12, 6/9, 7/14, 8/11, 9/8, 10/20, 11/17, 12/8 (B) 横浜市民ギャラリー あざみ野 (C) 各回 3 名	(D) 会員、一般 (E) 各回毎約 20 名	0

	スケッチ会	(A) 3/26, 6/25, 9/4 (B) 座間谷戸山公園、小田原城、砦公園 (C) 各回 4-7 名	(D) 会員、一般 (E) 各回毎約 30 名	25
	絵画教室 4 教室（絵画ボランティア、水彩画同好会、絵画芸術を考える、人物画制作特別企画）	(A) 各教室：金曜日または火曜日（月 1, 2 回） (B) 青葉区文化センター、アートフォーラムあざみ野 (C) 各回 3 名	(D) 一般 (E) アートフォーラムあざみ野 金曜日 10 名 火曜日 10 名 青葉区文化センター 金曜日 15 名	0
③ 広報啓発事業	ホームページに展覧会開催等の活動スケジュールの広報、および展覧会展示作品の写真掲載	(A) 春季展、37 回 JAG 展出品作品を掲載 (B) www.jag-ten.jp (C) 3 名	(D) 会員、一般 (E) 1/1-12/31 アクセス数 20, 583	296
	JAG ニュース発行	(A) 年 2 回発行 (B) 印刷物 (C) 1 名	(D) 会員、一般 (E) 印刷物 各回 500 部発行	234